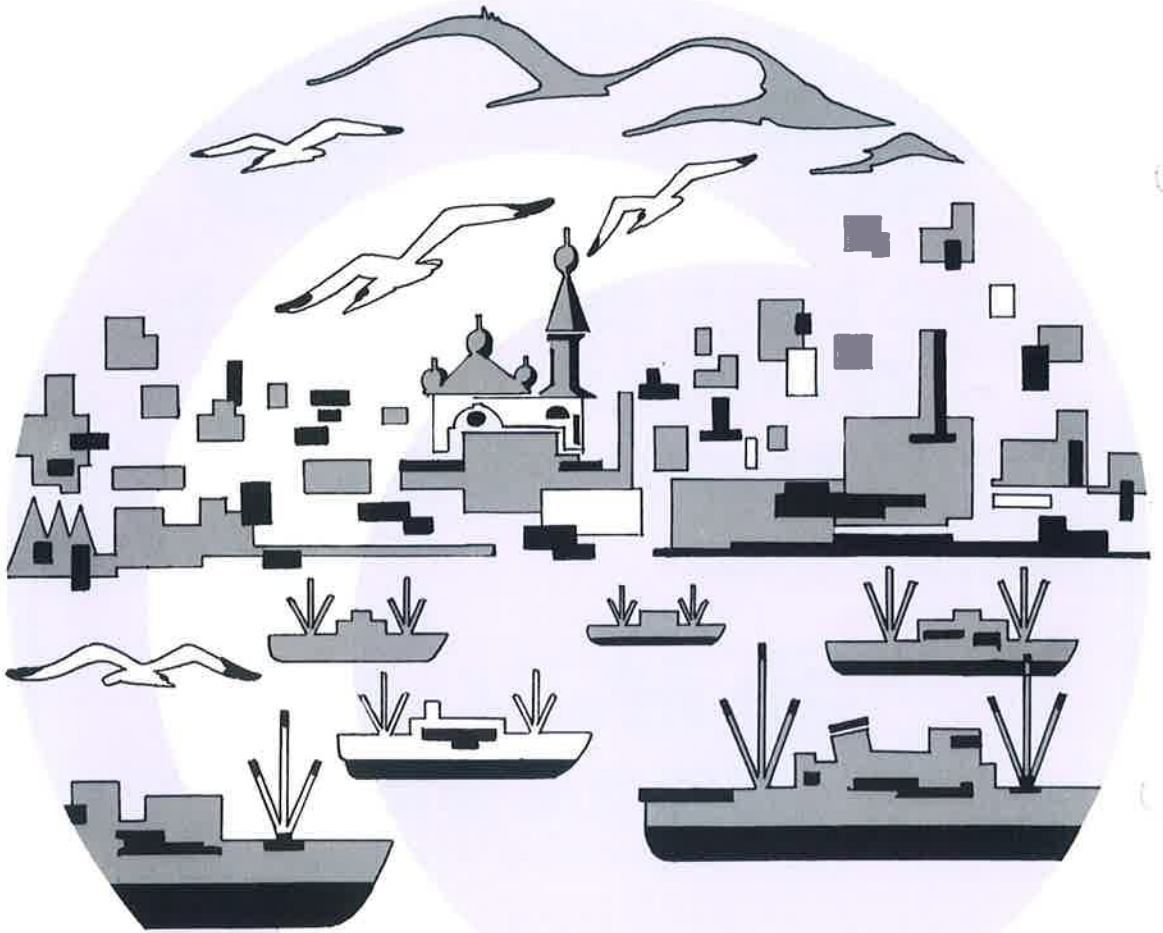


# ともえ

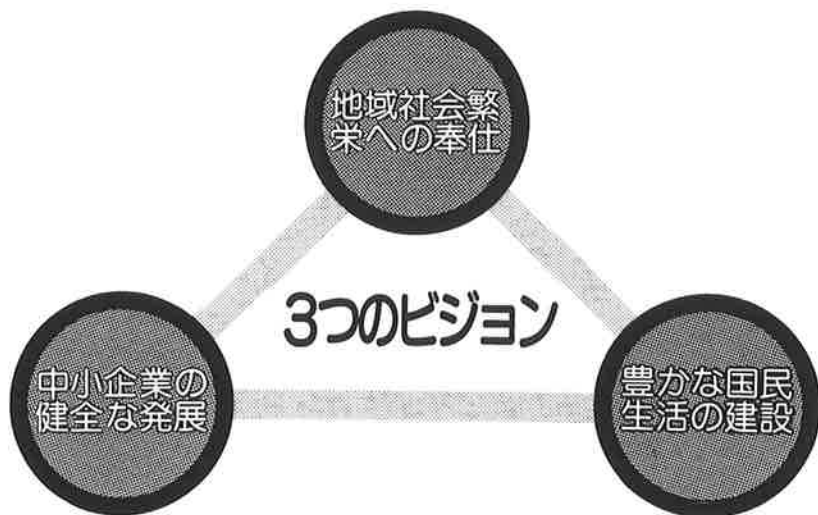
No. 37



■函館商工会議所報■

**1983 11月号**

豊かさを  
地域に築く  
商工会議所



はこしんは豊かな暮らしと  
確かな未来の実現に  
お手伝いいたします。



**函館信用金庫**

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241代

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247代	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820代
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221代	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711代
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236代	上磯支店	上磯郡上磯町字飯生町30番	TEL73-2151代
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511代	尻岸内支店	亀田郡尻岸内町字中浜115番の4	TEL84-2111代
弁天町支店	函館市弁天町15番6号	TEL26-3646代	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501代
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238代	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121代
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492代	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611代
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521代			

## 会員事業所

# 函館商工会議所生命共済制度の加入方お願い

商工会議所では会員皆様の福利厚生事業の一端として生命共済制度を行っていますが、本制度も昭和47年発足以来11年を経過しました。

お陰を以って、加入された会員の皆様からは、不慮に備えた生活保障が出来、且つまた安い掛金で高額の保障をモットーにした本制度について好評を博しております。

本所ではさらに本制度の普及を図るため、現在、本所と委託契約しております生命保険会社が、加入方について制度の説明を兼ねて会員の皆様へ直接訪問しております。

就きましては、保険会社職員が訪問の節には本制度をご理解いただき、一人でも多くの役員・従業員の方々の加入を特にお願ひ申し上げます。

## 制度的内容

### 保障額と掛金

いずれか一種類をお選びください。

口数	保障内容 月額掛金	{死亡} 高度障害 保険金	災害保険金 プラス 死亡保険金	障害給付金	入院給付金	
		病気による 死亡・高度障害	不慮の事故または 法定伝染病による 死亡	不慮の事故で一 定の障害を受け たとき	不慮の事故で入 院したとき5日 以上120日まで	
2口	610円	100万円	200万円	100万円~10万円	入院1日につき	1,500円
4口	1,220円	200万円	400万円	200万円~20万円		3,000円
6口	1,830円	300万円	600万円	300万円~30万円		4,500円
8口	2,440円	400万円	800万円	400万円~40万円		6,000円
10口	3,050円	500万円	1,000万円	500万円~50万円		7,500円

- ⑨ 1. 最低保険金額は100万円です。尚、新規加入、増額は100万円単位です。  
2. 掛金は年齢に関係なく一律です

◎ 本制度の詳細についてのお問い合わせは下記にお願いします

〔委託会社〕

(幹事)	三井生命保険(相)函館支社	TEL (54)5 1 6 1
	大同生命保険(相)函館支社	TEL (23)4 5 4 1
	日本団体生命保険(株)函館支社	TEL (22)1 1 2 8
	千代田生命保険(相)函館支社	TEL (22)5 1 9 1
	東邦生命保険(相)函館支社	TEL (26)5 5 3 3
	住友生命保険(相)函館支社	TEL (55)0 3 1 1
	第一生命保険(相)函館支社	TEL (55)1 1 3 1
	明治生命保険(相)函館支社	TEL (22)4 7 2 3

函館商工会議所運営部経理会員課 TEL (23) 1 1 8 1(代)

# ともえ

1983 11 No.37

## 巻頭言

日本道路公団の道央高速自動車道の内、苫小牧―白老間と札幌―若見沢間が引き続いて開通し、同自動車道の総延長はこれで北海道内百五〇キロになります。

高速道路は全国では七千六百キロを整備する基本計画で既に三千二百キロ余りが開通しております。これに対し、北海道は千二百キロ整備することを目標としていますが、開通は前述の百五〇キロです。整備率でみると全国四八％に対し、北海道はわずか九％です。

このように北海道の高速道路の整備は比較にならない位遅れをとっておりますが、西高東低の最たるものがこの高速道路であり、地域経済の動向に重大なる要因をもつものと思われれます。しかも道内で言えば、札幌中心の施行命令

であり、十月からは旭川に向けて、昭和六十五年度営業開始を目途に着工しました。函館―洞爺間百五十キロは基本計画のみで整備計画にすら乗っておらないのが現状です。

青森までの東北縦貫自動車道は昭和六十一年度供用開始の予定です。「青函トンネル問題懇談会」が提起した広軌の「カートレイン」による輸送が始った時、高速道路との連絡がなくて、どうして道央へ車の円滑な輸送が出来るのでしょうか。

青函トンネルは昭和六十二年度供用開始です。トンネル有効活用の面からも早速道南に目を向けて計画を変更し函館―洞爺―白老間の早期完成をすべきではないでしょうか。

## 目次

☑ 巻頭言	1
☑ 会議所だより	2～7
☑ 調査レポート	8～13
☑ アドバイスコナー	14～15
☑ 寄稿文	16
☑ 制度紹介	17
☑ ご存じですか	18～19
☑ 新会員ご紹介	20
☑ 事務局日誌(10月)・雑感	21
☑ ティータイム	22～23
☑ 告知板	24



# 会議所 だより



1/Terasawa



「津軽海峡博開催を積極的に提言して行きたい」とあいさつする 川田会頭

## (仮称) 津軽海峡博開催推進を決議

### 本所第四回臨時議員総会

本所第四回臨時議員総会及び第五回常議会が去る十一月十日午前十一時から五島軒駅前支店で開催されました。

総会に先立ち国家褒章、日本商工会議所並びに北海道商工会議所連合会から表彰された本所議員十三人(後記)に対し賀状、感謝状並びに

記念品の贈呈が行われ、つづいて津軽海峡博覧会開催促進特別委員会の設置などを中心とする重要な懸案事項を決めました。

総会は、はじめに川田会頭が挨拶に立ち、日本経済は全体的にみると輸出産業に支えられ、ゆるやかに景気回復に向っている。しかし北海道、道南地区は輸出産業を特に持たないため景気回復の実感は少ない。

また、函館経済情勢の動向(本所調査五十八年一〜九月)も、あらゆる指標で一進一退であると述べたあと、特に青函トンネル開通後における同トンネルの有効活用について、運輸省では広軌の「カートレイン」を走らせるべきだとの結論に達した。これを地域経済振興に最大限プラスになるよう対応を考えて行くと共に、開通を大きな節目として津軽海峡博覧会を青森市と共に開催、テクノポリス、函館空港の整備、道立

美術館の誘致、国立函館複合大学設置推進、駅前再開発事業など当面する経済環境変化に対し地域経済が対応できるような部会、委員会を開催し、本所として積極的に提言して行きたいと述べました。

次いで川田会頭が議長となり議事に入り、最初に報告事項が左記のようでありました。

◎議員役員異動は北海道電力㈱函館支店長益山久男氏、㈱函館西武支店長前多信雄氏、また、退任議員は㈱函館水産振興公社森岡勝氏、㈱小松商店小松重四郎氏◎正副会長選任は、食品商工部会長に㈱精養軒杉村吉彦議員、農水産部会長に函館定温冷蔵㈱木村勝太郎議員、副部会長に函館特産食品工業(協)豊山秋央氏、繊維商業部会長に㈱ニールック八田俊男議員、副部会長に㈱山竹鈴木商店白戸利栄監事◎テクノポリス建設特別委員会委員長選任は函館製網船具㈱岡本忠作議員◎函館商業活動調整協議会委員改選◎北海道テクノポリス建設促進協議会設立◎道立函館美術館誘致陳情◎函館・大阪間直行航空路線再開陳情◎国際科学技術博覧会への協力。



テクノポリス建設  
特別委員会会長  
岡本 忠作 議員



農水産部会長  
木村 勝太郎 議員

つづいて次の各議案を審議し、それぞれ原案通り承認しました。  
◎常議員二人補充選任は函館商工会用組合矢野康議員、鮎魚長食品柳沢勝議員◎青函トンネル開通記念津軽海峡博覧会開催に関する決議をし◎前項決議にもとづき津軽海峡博覧会開催促進特別委員会の設置及び委員長に加藤憲副会長（副委員長委員は後記）◎水族館建設調査特別委員会の設置については設置時期並びに委員の人選は正副会長に一任

## (仮称) 青函トンネル開通記念津軽海峡 博覧会開催に関する決議

世界に誇る世紀の大事業である青函トンネルは、本年1月先進導坑が貫通し、更に昭和61年度に本坑が完成、昭和62年度内に在来線による運行が開始されることは決定的である。

これを契機として青森県では既に青函トンネル開通時点を目途として、博覧会の開催準備に入っているところであるが、本市においても、将来の函館圏の一大飛躍と本道発展のための一つの節目として、青森県と連絡提携の上、北海道並びに函館市が主体となった津軽海峡博覧会を開催実施することこそ、時宜を得た記念すべき最良の事業であると考え。

博覧会の開催は、現下の内外情勢厳しい中であって函館圏の沈滞している商工業の景気対策に活力を与えると共に、文化・学術面は言うに及ばず、懸案のテクノポリス構想推進のはずみと、更にまた、観光の振興に多大の波及効果をもたらし、当函館経済圏の活性化につながるものと確信する。

開催には、種々の困難を伴う問題があると考慮されるが、北海道並びに函館市ご当局の博覧会実現への積極的な取り組み方を希求してやまないところである。

もちろん我々商工会議所としても、博覧会実現のために、その全機能を發揮すると共に、関係経済団体を始め、市民各層の英智を結集し、一致団結して強力に推進することの決意を函館商工会議所の総意として茲に表明するものである。

以上決議する。

昭和58年11月10日

函館商工会議所会頭 川 田 寛

博覧会特別委員会委員長  
◎委員長加藤憲◎副委員長長北村実、

田中仁、柳沢勝◎委員杉村吉彦、八田俊男、楠靖、大総一郎、安藤勝見、松本演之、木村勝太郎、近藤敏夫、

青木理、沼崎弥太郎、高間勉、藤川正臣、堀田純一、棟方忠、岡本忠作、大越勝巳、小笠原金悦各議員

# 津軽海峡博推進など

## 本所で陳情活動活発

函館商工会議所では、地域の文化・経済など多方面にわたる振興のため意見の具申、陳情、要望活動を行っています。なかでも道立函館美術館誘致、函館・大阪間直行航空路線再開、青函トンネル開通記念津軽海峡博覧会開催などを中心に陳情活動を展開しています。

### ◇道立函館美術館誘致

道立美術館の誘致に関しては、現在、函館、帯広、釧路、室蘭の四市が誘致の名のりをあげ運動を展開中ですが、当市としては、去る十月十六日に柴田市長とともに川田会頭（道立函館美術館誘致促進期成会会長）らが横路知事、中村道教育長などに誘致陳情を行いました。

本所では文教施設誘致促進委員会（堀田純一委員長）を中心に調査研究を行い、同期成会と連係をとりながら活動を続けてきています。

なお、期成会では、民間の熱意を

表明するため、本所高野副会頭を委員長として募金委員会を設置し、一億円を募金目標として誘致実現の地固めを行うなど内部体制の強化をはかってゆくことにしています。

### ◇函館・大阪間直行航空路線再開

同航空路線の再開に関しては、これまで再三の陳情運動を行ってきましたが、十月二十五日から二十八日にかけて、運輸省、大阪国際空港騒音対策協議会ほかに対し、函館空港整備促進協議会（本所からは村瀬副会頭ほか）が陳情を行いました。

この陳情は、近々運輸省において航空路線の見直しが行われることから、現在休航となっている同路線の再開を実現し、関西圏域との交流を促進することにより地域の活性化を促すことができるものと期待されます。

### ◇津軽海峡博覧会開催陳情

青函トンネルの開通（昭和六十二

年運行開始予定）を記念し、青森市では、早くから博覧会を開催すべく準備を行っていますが、この歴史的意義を考えた時、同時開催が不可欠と思われることから、十一月十日に開催された第四回本所臨時議員総

会でも同博覧会開催が決議（決議文は三ページ掲載）され、これを受け十一月十二日には、市長、市議会議長ほか、また十四日には道知事ほか関係団体に対し、川田会頭等が陳情を行いました。

## 簿記検定試験施行30周年記念

### 簿記会計懸賞論文募集

昭和59年に迎える簿記検定試験施行30周年を記念して、日本商工会議所・全国各地商工会議所は次の要領により、簿記会計に関する論文を広く各層から募集することにいたしました。

論文のテーマは自由です。簿記会計に関することであれば、研究論文でも、日常の業務に係る体験や日頃考えていることを題材とした論文でも結構です。皆様方の貴重な論文が多数寄せられることを期待いたします。

### 応 募 要 領

論文の範囲	簿記会計に関するもの。ただし未発表のものに限ります。		
論 題	自由とします。		
応募論文	400字詰原稿用紙25枚程度。（論文には目次をつけてください）		
応募締切	昭和59年2月29日（水）		
論文送付先	日本商工会議所業務部 〒100 東京都千代田区丸の内3丁目2番2号 封筒の表に「簿記会計応募論文」と朱記してください。		
表 彰	1等	1人	日本商工会議所会頭賞・副賞20万円 日本会計研究学会会長賞
	2等	2人	日本商工会議所会頭賞・副賞10万円
	3等	3人	日本商工会議所会頭賞・副賞5万円
		佳作	5人 賞品



# 秋の褒章和田議員受章

## 川田会頭に道新文化賞

本号二ページ記載のとおり十一月十日本所で開かれた第四回臨時議員総会で、本年秋の国家褒章を受章された本所和田吉平議員ほか十二人に

対し、日商永野会頭、道商連今井会頭及び本所川田会頭から賀状、感謝状、記念品等が贈られました。このほか川田会頭が十一月五日、北海道新聞文化賞（産業経済賞）を、また本所中島理事・事務局長が中小企業基本法施行二十周年に伴う中小企業庁長官表彰を受賞（彰）されました。なおそれぞれの功績は次のとおりです。

**黄綬褒章**（日商会頭賀状、本所会頭記念品贈呈）

議員和田吉平（㈱丸又和田商店代表取締役会長） 明治三十二年創業という老舗の三代目。横浜高商卒業後他の企業を経て昭和二十五年から家業を継ぎ、北海道卸売酒類販売組合理事、函館酒類懇話会会長等を長

年務め酒類販売の正常取引や酒税納入の促進に尽力され、このたび受章の榮に浴しました。

### 日商表彰規程に基づく表彰

○商工会議所役員として特に功勞のあった議員（日商会頭感謝状、同記念品贈呈） 常議員・前会頭辻 才次郎

○商工会議所役員及び議員として勤続十五年以上にわたり商工会議所事業の発展に尽力した功績（同感謝状贈呈）

**勤続三十五年** 常議員竹田留治、同西村敏雄 **勤続二十五年** 議員阿部文男

○商工会議所の役員として多年にわたり商工会議所事業の発展に尽力した功績（同感謝状贈呈） 〓 退任議員前常議員西野吉一

### 道商連表彰規程に基づく表彰

○商工会議所の役員・議員で勤続十年以上にわたり商工会議所運営基盤

の強化と商工業界の振興発展に尽瘁した功績（道商連会頭感謝状贈呈）

**勤続三十年** 前常議員小松重四郎

**勤続十五年** 常議員鈴木武二、議員関 勝吉、同和田吉平、前常議員

森岡 勝 **勤続十年** 議員景山三郎 同金子由雄

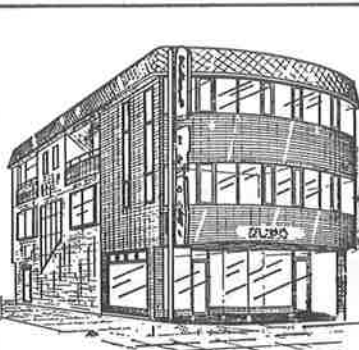
### 北海道新聞文化賞（産業経済賞）

会頭川田 寛（日本化学飼料㈱代表取締役社長）

「ムダなもの存在しない」との開発哲学をもってサバ、イワシ、スケソ等、魚の未利用資源（内臓、頭、骨等）を徹底的に利用、その中から付加価値の高いアミノ酸と油の抽出に取り組み、アミノ酸は配合飼料に利用、また魚油からコレステロール、EPA等高純度品を抽出、このほかバイオテクノロジー技術を駆使した優れた製品を種々開発し地域経済の振興に大きく貢献、テクノポリリス地域指定を目ざす函館市は今後に大きな期待を寄せております。

### 中小企業庁長官表彰

理事・事務局長中島 茂  
わが国経済の基盤である中小企業の振興に尽力した功績により表彰。



- 函館市万代町2-30
- ☎41-3545・45-2414
- 営業時間/AM8:00~PM8:00



おいしいおこめ 全市全域宅配

株式会社 **梶原米穀店**

寶生堂 かねぼろ

**かじはら**

ART PLANNING

# 不公平税制の是正など要望

## 第十回「税を知る座談会」開く

毎年十一月十一日から十七日まで私たち国民生活に深いつながりを持つ財政の役割、税の仕組みとその使われ方などを広く理解するための、「税を知る週間」の諸行事が全国的に行われました。

函館商工会議所では、日頃の相談指導業務を通じて難解な税法の解説



税の見直しなど活発な意見を出す業界代表者たち＝本所会議室で

や、正しい税知識の普及、納税意識の高揚に務めています。この週間に協賛し本所主催による「税を知る座談会」を十一日午後開催しました。

当日は納税者として製造業から河野四五二（道南食糧工業）、豊山秋央（豊山食品）、建設業石井精吾（石井組）、卸売業島谷晃（丸晃電気）、小売業干場敏治（干場時計店）、サービス業木谷保（木谷理容院）の業界代表各氏と、サラリーマンの立場から石田健治氏（南北海道電子計算センター）、税務当局からは、札幌国税局、高氏徴収部長、中島所得税課長、函館税務署内田署長ほか、渡島支庁吉井税務部長、市理財部田中管理課長ら国税、地方税の担当幹部が出席し、北海道青色申告会三本木会長が座長を務め座談が進められました。

話題となった主なものは、◎課税

最低限の引き上げ、◎相続税、贈与税など承継税制に関する問題、◎事業の協同化、集団化に対する税の軽減措置、◎国税と地方税との関連、◎税法に抵触する会計処理の問題点などでした。

この座談会は今年で十回目を迎えました。行財政改革が今や何事にも優先すべき国家的課題となっている時代背景もあり、加えて依然として厳しい経済情勢下とあって、各業界代表とも国家財政の財源である税についての見直しは鋭く、特に不公平税制の是正や中小企業の存続発展を願うの税制改正を望む意見要望が多く、これに対し、税務当局側も懇切丁寧な説明、回答に応じ、予定の時間をオーバーするほど活発な意見が交わされ、「税を知る週間」の初日を飾るにふさわしい座談会となりました。

なお、本所中小企業相談所ではこのあと、二十一、二日に法人の年末調整説明会、十二月に入って個人の決算指導並びに年調説明会を開催する予定になっており、随時税に関する説明会を開催しておりますのでお気軽にご来所下さい。

小・中学生から一般成人まで  
生きた英語を……

小・中学生：旺文社LL教室システム

一般成人：オーラルアプローチシステム（アメリカ人専任講師による）

**大文堂 英語スクール**

函館市本町25-12(北屋ビル3F) Tel.(0138)53-8352



小林福山商工会議所  
のあいさつをする  
福山市民会館  
の頭取

# 税制改正要望など決議

15回婦人会  
連合会総会  
全国から1270人参加

福 山 市

第十五回全国商工会議所婦人会連  
合会総会が去る十月二十五日、広島  
県福山市で開催されました。

「声かけあい婦人の絆より太く」  
の大会スローガンのもと、全国から  
百三十一婦人会、千二百七十人が参  
加し、会場となった福山市民会館は  
女性経営者達の熱気で満ちました。  
函館からは佐山会長始め十二人が

参加しました。

商工会議所婦人会数は現在全国で  
百七十二、一万五千余人の会員で年  
々増加しており、日本商工会議所会  
頭代理で出席した日商佐々木専務理  
事も、「我が国経済も高度成長から  
低成長期に移行し、物から心の時代  
に変わりつつある。円満で豊かな地域  
づくりのために貢献され、この大き  
な地方の声を大会を通じて中央に反  
映させて行きたい」とあいさつしま  
した。

大会では協議事項として次の二項  
目が提案され審議されました。

一、「中小企業の設備投資促進税  
制および事業承継税制の拡充に関す  
る要望について」二、「青少年の健  
全化について」。提案一、について東  
京婦人会から昭和五十九年度の税制  
改正に際し、次の事項について実現  
を図られるよう強く要望しました。

イ、中小企業の設備投資促進税制の  
拡充(1)中小企業設備投資促進のため

の措置(2)中小企業新技術体投資促  
進税制の創設(3)建物および機械等の  
法定耐用年数の短縮化。ロ、中小企  
業の事業承継税制の拡充(1)個人事業  
者の事業用資産ならびに同族会社の  
株式を後継者に生前贈与した場合の  
納税猶予の制度化(2)相続税の基礎控  
除および贈与税の基礎控除の引き上  
げ。提案二、については九州プロッ  
クから、最近、中・高校生が引き起  
す殺人、窃盗、覚醒剤中毒、教師へ  
の暴力行為等に、今まで無関心であ  
りがちだったこれらの青少年教育問  
題について、それぞれが関心を持ち、  
広く国民的な課題として警鐘を打ち  
鳴らす鐘つきの役目を商工会議所婦  
人会が受け持ち、今後望ましい学  
校教育のあり方や、家庭内の躰の問  
題など青少年教育の健全化について  
強く訴えて行きたい。と説明しまし  
た。

以上の大会決議事項について森井  
連合会会長は、機会あることに関係  
方面に呼びかけることを約し、各地  
区婦人会にも協力を要請しました。  
なお次回大会開催は昭和五十九年  
十一月七日横浜市と決まりました。

## 空 港 ビ ル 直 営 店

# ポルツクス

函館空港ビルデング株式会社

代表取締役社長 矢野 康

2階  
出発ロビー

レストラン  
売 店

1階到着ロビー  
2階  
ホールドルーム

喫 茶

3階

星のロマンを語る  
プラネタリウム館

平年作までの回復は期待薄とみられている。

(漁 業)

近海マイカ漁は、出足不漁であった日本海側もここへきて持ち直しているなど、前年とは様変りに好漁。一方、コンブ漁は、天然もの中心に水揚げは前年を下回った模様であり、ホタテ漁も、毒性プランクトンの影響から出荷の目途がたない様子。

(小売商況<9月中>)

市内大型店では、秋物衣料、暖房器具など季節商品の出足が順調であるなど、夏場頃に比べ幾分持ち直し気味となっているが、全体としては今ひとつ盛り上がりには欠け、9月中の大型小売店売り上げ高(10か店)は前年比△2.5%と4か月連続して前年水準を下回った。

この間、耐久消費財では、乗用車が新車投入効果等から好伸(乗用車新車登録台数<9月中>、前年比⊕14.6%)

しているほか、家電製品もVTR、小型カラーテレビ等の売れ行きが順調。

3. 金融事情(9月中)

○管内金融機関の実質預金は、公金預金が工事代金等の支払から減少したものの、期末月とあって預貸併進による預金嵩上げの動きもみられ一般預金が増加したことから、月中増加額は228億円と前年(同195億円)を上回った。

一方、貸出は建設、水産関連等の季節資金が幾分増加したほか、地公向けも前年を上回る増加を示したことから、月中増加額は182億円と前年(同162億円)を1割強上回った。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、月中△0.031%と引き続き低下。

○銀行券は、月初の還流が鈍かったことを主因に、月中還収超額は25億円と前年(同34億円)を下回った。

○財政収支は、簡保の貸付が前年を上回ったものの、資金運用部貸付金の返済が嵩んだことから月中受超額は71億円とほぼ前年(同70億円)並み。 以上

統 計 資 料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高(10店) 昭和58年10月

品 目	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣 料 品	3,219,640	127.4	108.1
身 回 品	480,107	102.3	100.7
雑 貨	637,576	106.2	107.6
家 庭 用 品	822,696	103.2	101.5
食 料 品	1,578,722	106.0	103.9
食 堂 ・ 喫 茶	183,530	103.6	98.4
サ ... ビ ス	58,880	103.9	108.1
そ の 他	225,886	100.3	106.6
総 額	7,207,037	113.6	105.5

※ 10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップ、パーズプラザ湯の川店の各店をいう。テーオー小笠原については食料品を扱っていない。

9月

昭和58年10月31日発表

# 金融経済概況

日本銀行函館支店

## 1. 概況

○最近の管内金融経済動向をみると、電子部品（半導体）、化学（魚油）、段ボール等が高操業を持続しているほか、製缶機械も操業度を引き上げているが、造船、合板機械等は受注低迷から操業度が漸次低下、また百貨店売り上げ高は、衣料品が幾分持ち直し気味となっているのを除けば全般的に伸び悩んでいるなど、全体としてはなお盛り上がり欠ける状態が続いている。

この間、農業は、作柄の持ち直しにもかかわらず、水稲等は平年作を下回る見通し。漁業は、近海マイカ漁が好調の反面、コンブは天候不順が響き不漁のまま終漁した模様。

## 2. 主要業種別動向

### （造船）

修繕船の受注はますますながら、新造船については、受注環境が依然厳しく操業度は漸次低下しており、本工の一部に引き続きアイドルが発生。

### （電子部品）

コンピュータ関連や電卓、制御用装置向け中心に生産即出荷の状態が続いており、引き続きフル操業。

### （珍味加工）

荷動きは、需要の端境期ということもあり一服状態であるが、生産面では年末需要最盛期を控え一次加工主体にフル操

業となっている。

### （化学）

飼料、魚油は、イワシ・スケトウ漁の水揚げ好調や米国熱波の影響による代替需要増からフル操業を継続。一方、肥料は、農薬関係のスポット受注がみられたものの、主力の高度化成については冷害により農家の購買態度が一段と慎重化し、出荷がかなりの落ち込みをみているため、操業度は低下気味。

### （機械）

製缶機械は、新規受注増や納期の集中から高水準の生産を行っているが、合板機械は、輸内需とも低迷していることから、生産水準は前年をかなり下回っている。

### （段ボール）

青果物（馬鈴薯）向け需要が、天候不順の影響を受けた東北・道東地区から道南産馬鈴薯にシフトしていることもあり順調なほか、水産向けスポット受注もみられ高操業を続行。

### （その他製造業）

漁網は、スケトウ好漁による底引網の受注増に加え、サケ・マス流し網の生産期を迎えたことなどから、引き続き前年を上回る生産水準を維持している。一方、セメントはこれまでのスポット受注増の反動減等を映じ、操業度がかなり低下。

### （建設）

官公需、民間設備投資の盛り上がり不足に加え、個人住宅も低迷を続けていることから、建設業者の新規受注は引き続き低調。

### （農業）

馬鈴薯は平年作で収穫済みであるが、水稲は作況の持ち直しにもかかわらず、

## 2. 売上額について

来期の売り上げ見通しを全業種でみると、今期に比べ「増加」するとみる企業28.8%に対し、「横ばい」企業45.0%、「減少」するとみる企業26.2%でD I 2.6となっており、今期並みに推移される。

これを前年同期比でみると、「増加」企業18.5%に対し、「横ばい」企業52.3%、「減少」企業29.2%でD I △10.7となっており、前年より売り上げの減少を予想する企業が多い。

次に、来期の売り上げ見通しを業種別でみると、建設業では、今期比D I △14.3、前年同期比D I △35.3といずれも大幅な減収を予想している。

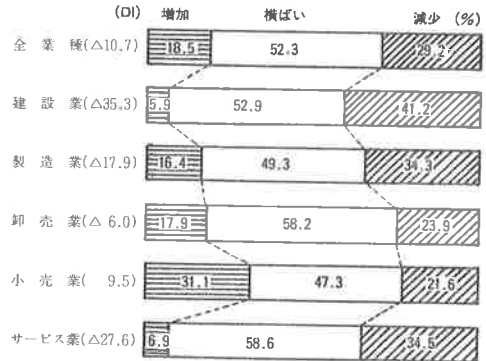
製造業では、今期比でD I 1.5とほぼ今期並みを予想しているが、前年同期比ではD I △17.9と減収を予想している。特に、繊維製品業、木材・木製品業、造船業が大幅な減収を予想している。

卸売業では、今期比でD I 19.7と増加を予想しているが、前年同期比ではD I △6.0と若干の減収を予想している。業種別でみると、建築材料関係が今期比、前年同期比ともに大幅な減収を予想している。

小売業では、今期比D I 9.3、前年同期比D I 9.5といずれも増加基調で推移される見通しである。業種別にみても、衣服・身の回り品業が前年同期比で若干D I がマイナスを示している以外は、年末の需要期を控え全般的に業績好転を見込んでいる。

サービス業では、今期比D I △29.0、前年同期比△27.6といずれも大幅な減収を予想している。業種別にみても、洗たく、理美容関係以外はすべての業種でD I が大幅なマイナスを示し、業績悪化を予想している。

図-6 来期の売り上げ見通し (対前年同期比)



## 3. 資金繰りについて

来期の資金繰りについては、今期に比べ「好転」するとみる企業6.5%に対し、「悪化」するとみる企業17.5%でD I △11.0と悪化を予想しているが、「変わらない」とみる企業が76.0%もあり、ほぼ今期並みに推移される。業種別にみると、建設業D I △17.1、製造業D I △1.5、卸売業D I △12.1、小売業D I △9.1、サービス業D I △25.8と、すべての業種でD I がマイナスを示しているが、特にサービス業、建設業が悪化を予想している。



関西風 お好み焼 赤坂

函館市千代台町2-16 TEL 51-9435

16.8%を上回っており、D I  $\Delta 28.0$ となっている。

このように、純利益は売り上げ不振が大きく影響して、採算の悪化基調が続いている。

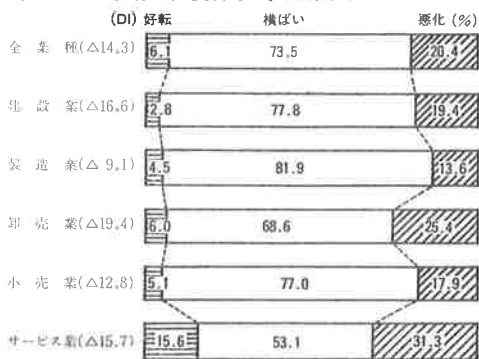
業種別でみると、各業種とも悪化しているなかで、前期比では製造業の飲食料品関係(水産加工業を除く)、金属・一般機械器具、卸売業の飲食料品関係がD I プラスを示し、前年同期比では小売業の自動車販売がD I プラスを示している。

#### 4. 資金繰りについて

今期の資金繰りを全業種でみると、前期に比べ「好転」した企業6.1%に対し、「悪化」した企業20.4%でD I  $\Delta 14.3$ となっており、悪化基調に変わりないが、「変らない」とする企業が73.5%であり、ほぼ前期並みに推移した。

業種別にみると、建設業が若干マイナス幅を縮小している以外は、すべての業種でマイナス幅を拡大している。

図-4 今期の資金繰り (対前期比)



#### 5. 経営上の問題点

今期最も苦慮している経営上の問題点としては、やはり「売上・受注の不振」をあげる企業が多く、全業種で49.4%を占め、前年同期に比べ10.3%増加している。この「売上・受注の不振」を業種別にみると、建設業64.8%、製造業48.6%、卸売業59.2%、小売業46.2%、サービス業18.5%となっているが、サービス業においては、今期「客足の減少」をあげる企業が26.0%と「売上・受注の不振」を上回った。

他に経営上の問題点をみると、建設業では「純利益の減少」11.8%、製造業は「人件費等経費の増加」12.1%、卸売業は「純利益の減少」12.1%、小売業は「客足の減少」11.8%、サービス業は「営業経費の増加」「同業者の競合」がそれぞれ14.8%を占めている。

#### 来期 (10月~12月) の見通し

##### 1. 業況について

函館地域の来期業況見通しを全業種でみると、今期に比べ「好転」とみる企業18.5%に対し、「横ばい」企業55.7%、「悪化」とみる企業25.8%でD I  $\Delta 7.3$ 、また、前年同期比でみると、「好転」企業12.5%に対し、「悪化」企業31.5%でD I が $\Delta 19.0$ を示し、依然として悪化基調で推移される。

これを業種別にみると、今期比ではD I が、建設業 $\Delta 32.4$ 、製造業10.3、卸売業 $\Delta 6.0$ 、小売業 $\Delta 1.3$ 、サービス業 $\Delta 35.5$ で、製造業が「好転」を予想している以外はすべてD I がマイナスを示し、特に建設業とサービス業が大幅な悪化を予想している。また、前年同期比では、すべての業種でD I がマイナスを示しているが、やはり建設業とサービス業が、それぞれ $\Delta 50.0$ 、 $\Delta 32.3$ と大幅な悪化を予想している。

このように来期業況は、一部業種において景気回復が期待された夏場シーズンの不振も影響し、加えて年末にかけての資金需要の発生に、純利益、資金繰りが追いつかないために、先き行き不安となり厳しい予想となっている。

図-5 来期の業況見通し (対前年同期比)

